

文部科学省 令和2年度委託事業

# 「幼稚園の人材確保支援事業」 実施報告書

公益社団法人福島県私立幼稚園・認定こども園連合会

# 目 次

幼稚園の人材確保支援事業実施の趣旨	1
本事業の全体図	2
幼稚園の人材確保支援事業調査研究の要旨	3
1 リクルート映像の発信	5
2 就職のための総合ガイドブック	7
3 就職フェア	9
4 就職セミナー	21
まとめ	25
調査研究実行委員会名簿	27



# 幼稚園の人材確保支援事業実施の趣旨

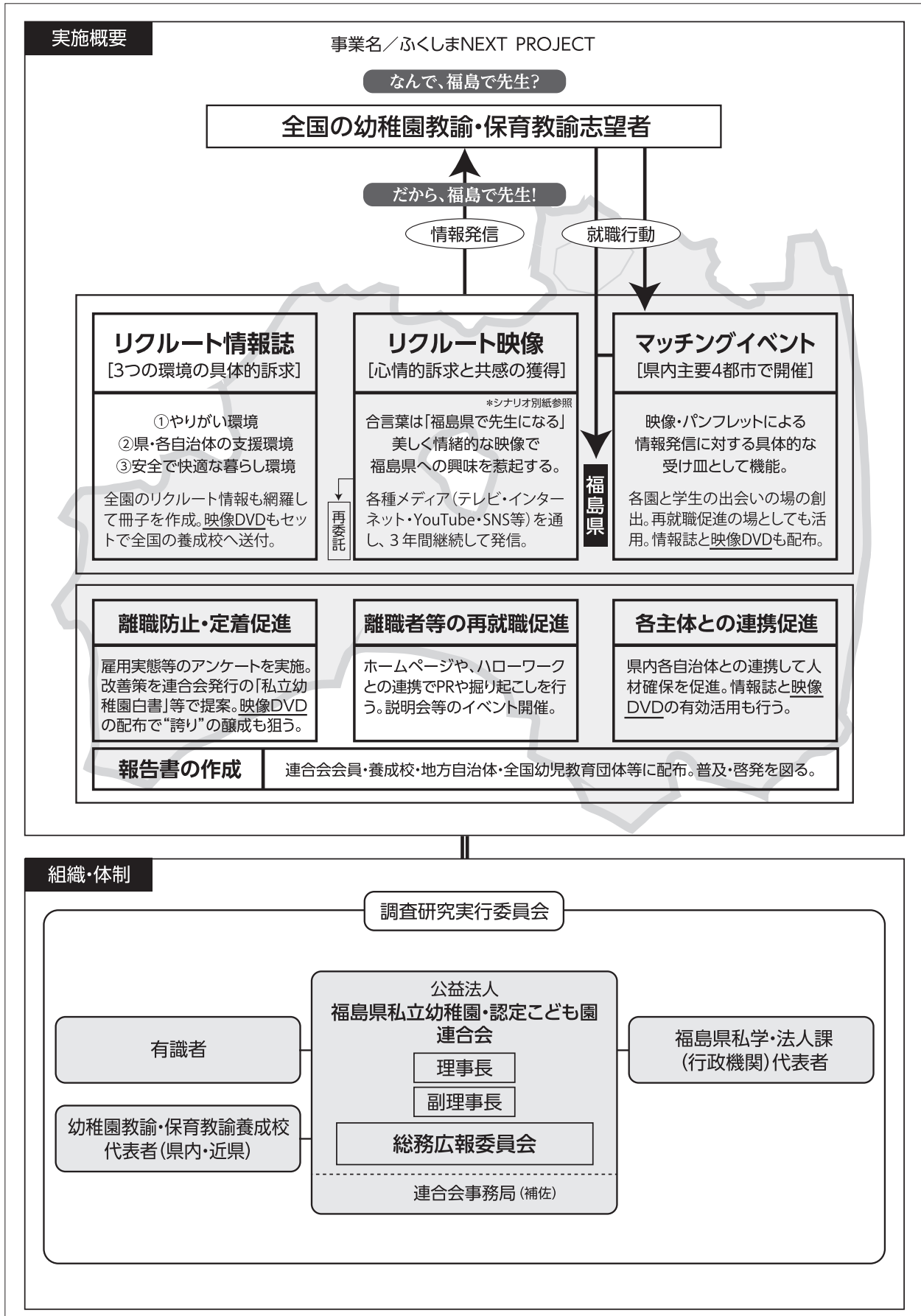
福島県における幼稚園教諭、保育教諭の確保については、これまで県内の各大学、短期大学においての就職説明会を毎年実施してきているが、原発事故後による大幅な人口減に伴い、教諭等の確保についても困難を来しており、人的復興には至っていない。そのため、福島県における教諭等確保については、県内における幼児教育存続の視点からも緊急の課題となっている。

よって、東日本大震災・原発事故から10年目を迎えるにあたり、震災後の福島県内幼稚園教諭・保育教諭不足を打破するための有効な方策として「ふくしま NEXT PROJECT - 福島県で先生になる」の事業名の基、全国の大学、短期大学、専門学校生の心情に訴えアピールできるリクルート映像の製作を行い、その映像を YouTube はじめ各メディアにおいて全国に向け発信し「なんで、福島で先生？」を「だから、福島で先生」にと成ることを目指し、更には全国から資質のすぐれた人材を確保することで福島県全体の幼児教育の質の向上を目指すものである。

よって、当然のことながら教諭等の確保にあたっては、新規採用者を確保することはもちろんのこと、離職防止・定着促進のため、幼稚園教諭等の働く実態を調査し、社会保険労務士等の活用により働き方改革をはじめ処遇改善等の啓発を図り、また、再就職希望者の掘り起こしを図るため、研修会や就職説明会を開催し、離職者の再就職促進につなげたい。

これらを実現するために、文部科学省委託事業「幼稚園の人材確保支援事業」の採択を得て、より効果的な幼稚園教諭、保育教諭の確保が図れるよう調査研究を実施して、今後の教諭等の確保、質の向上に役立てようとするものである。

# 【本事業の全体図】



# 幼稚園の人材確保支援事業調査研究の要旨

## 1 本事業の目的

原発事故以降、各幼稚園等において、県内からの教諭等確保だけでは限界があることから、現状打開のために福島県で先生になることが如何に尊く、それが福島県の復興へ貢献できる仕事であることを幅広く全国に訴え発信していく取り組みが必要である。併せて人材確保にあたっては社会保険労務士等の活用により、働き方改革をはじめ処遇改善や職場の質の向上を図ると共に原発事故後の福島県の安全・安心を積極的に発信し離職者の再就職促進にもつなげ取り組んでいくことを目的とする。

## 2 各調査の研究課題

### (1) 幼稚園教諭の離職防止・定着促進

福島県内の私立幼稚園・認定こども園に対し各園の雇用実態・処遇改善・働き方改革等についてアンケート調査を実施し、課題点を検証して調査研究実行委員会で協議を行い社会保険労務士等を活用して改善策等を当連合会が毎年発行している「福島県私立幼稚園白書」等で提案する。更には本事業「福島県で先生になる」の映像をDVD化して配布し各園の教諭等に視聴してもらい、自分達が福島県で幼児教育に携わる先生の仕事をしていることに誇りを感じてもらおう。

### (2) 新規採用の促進

ア 「福島県で先生になる」を合い言葉にし自治体と連携して本事業に取り組み、若い世代、特に大学等の学生達へ福島県で就職することに目を向けさせ興味・関心を持ってもらうための方策として、視聴する人の心情に訴える美しい情緒的な4～5分程度の映像を制作して、福島県で先生になることの尊さや素晴らしさ、更には幼稚園教諭の仕事への情熱を持つということが如何に大切かを質の高いストーリーの映像で表現しYouTubeをはじめ各メディアを通して全国に3年間継続して発信し訴える。勿論オール福島のカスタで制作にあたり、福島県民挙げて福島県への就職を熱望している姿勢を示し、新規採用の促進を図る。

イ 福島県内の私立幼稚園・認定こども園を全て網羅した各園の紹介とリクルート情報等を掲載した情報誌（仮称「福島県で先生になる」総合ガイドブック）を作成し、県内はもとより全国の大学・短期大学・専門学校へ新規採用促進用の映像（動画）をDVD化したものとセットにして送付する。

- 各園のリクルート情報の掲載事項については調査研究実行委員会で検討する。
- 福島県内の各自治体の支援制度等の情報や暮らしに関する情報も発信する。
- 福島県内での教育実習を選択してもらえるような福島県独自の支援策を調査研究実行委員会で検討し発信する。
- 原発事故後の福島県内の空間線量をはじめ食の安全・安心を発信する。
- 今後の就職説明会等のイベント開催予定を発信する。

ウ 本事業「ふくしま NEXT PROJECT -福島県で先生になる-」は幼児教育に関わる多くの人たちによる“全員参加型の人材採用促進運動”でもあると捉える。

いま、人は誰もが自らのメディアを持ちえる時代になった。

ブログやツイッター、フェイスブック、インスタグラムなど、いわゆるSNSを使い、世界中に情報を発信している。幼稚園・認定こども園の先生、職員、父母、OB、OG、自治体の関係

職員等が力を合わせ、そして自由に、「福島県で先生になる人、いませんか?」「映像を一度観てください!」と映像が視聴できる QR コードと共に SNS で発信することを働き掛ける。

園だより等、普段に使う様々な紙媒体にも QR コードを印刷し、視聴の可能性を広げます。

復興の先を見据えた、新しい県土づくりを担う人材育成を、“根っこの教育”を通して築き上げて行く…。福島県の取り組みは大きなムーブメントとなって動き始める。この運動が「福島方式」となって他県にも大きな影響を与え、全国の採用環境を好転させることができればと考える。

### (3) 離職者等の再就職の促進

当連合会のホームページやハローワークと連携して離職者の再就職希望の掘り起こしや PR を行うと共に、就職説明会等のイベント開催を発信し、相談コーナー等も設置して再就職希望者の質問等に対応しながら、不安や悩みを解消して人材確保を図る。

○ イベント会場でも、映像と情報誌を有効に発信して活用する。

### (4) 全体のまとめ

本事業の調査研究結果について、分析・評価・費用対効果の検証を調査研究実行委員会で行い報告書を作成する。報告書については当連合会加盟園はじめ県内の各自治体、全国の大学・短期大学・専門学校に配布し意見等をいただき今後の活動の指針としていく。更には全国の幼稚園団体等に本事業を先進事例として公開し、波及、啓発を図る。

## 1 リクルート映像の発信

### (1) 目的

福島県内における幼稚園教諭・保育士の不足を解消するためだけでなく、広く全国から資質のすぐれた人材の採用を推進することで、福島県全体の幼児教育の水準をいっそう高める。

このため、「だから、ふくしま！」を表現し、見る人の心情に訴える美しく情緒的映像を作成し、全国へ向けた情報発信を行っていく。

### (2) 事業内容

より印象ある映像で幼稚園の先生の魅力を伝え、『幼稚園の先生になりたい。』という気持ちを育むことができればと考えていた。現在、リクルート映像や仕事の魅力を伝える動画がYouTubeなどでも多数上げられている。市町村等の保育士確保の動きもあり映像化されたものも多くあるが内容等についてすばらしいものもあるものの個人製作や自主制作では限度があり今回この事業を活用することにより、より良い映像ができればと考え映像作製に取り組んだ。新型コロナウイルス感染拡大に伴い活動も大きく制限された中このような動画での取り組みで人材確保事業として行えることができると考えた。

離職防止の役割をも果たし現在幼稚園教諭として働いている方々にも大きなエールとして元気を与えることができればと考えている。また、県内での幼稚園教諭確保を目的としているが、全国でも映像を見ることにより幼稚園の先生を目指す人や、一度退職して現場から離れた人でもまた先生になろうと思えるような映像にした。福島震災のイメージから復興が進んでいることを全国にもアピールしたいと考えた。

### 【契約内容】

再委託により「リクルート映像」作成、発信を契約して実施した。

委託契約月日 令和2年7月6日

契約期間 令和2年7月6日から令和2年10月31日

完了月日 令和2年10月27日

### 【実施内容】

- 10月25日 YouTubeでの公開
- 報道関係16社、全国私立幼稚園各県団体46団体、教員養成校、その他関係機関にYouTubeアップのお知らせとDVDの発送を行った。
- アップのお知らせをするため、福島県の地方紙2紙に無償掲載の依頼、うち1紙は定期的な掲載を、更に全国の教員養成校にはお知らせ文書の送付を決めた。
- YouTubeにアップしたものの権利は3年間とした。
- 理事長以下役員の名刺にQRコードを表示するなどの工夫を図った。
- 連合会のホームページからYouTubeにアクセスできるようにした。





#### 公開コメント

「思わず涙が出てしまいました。子供はいつの間にかきちんと自分で考え成長している。先生方を見ているととても完璧に見え、親としてもっと勉強しなくてはと思うことが多々ありました。」

#### (3) 事業実績

完成した映像は YouTube にも福島県幼稚園・認定こども園連合会の映像として掲載している。またロム等でも映像を作り地元の養成校での就職セミナー等で映像を見てもらい幼稚園教諭の魅力伝えることができた。また仕事の魅力、重要性を伝えるために県内議員の方などにも映像をお渡しし広める活動を行っている。YouTube での再生数1,500件とまだまだ回数は増加中ではあるが他の保育関係の動画等と比較しても再生数は多い。地元の新聞でも内容を取り上げていただいたが、さらに映像を広める機会を今後も作っていきたい。

#### (4) 課題

見た方々は映像の内容についてよい評価、印象が多いので、さらに映像を広めていく機会を作らなければならない。再生数だけが評価ではないが広報活動がさらに必要だと考えている。若い世代の就職活動のスタイルや情報を入手する手段がスマホ等を利用したインターネットが中心でこのような形での活動が必要である。また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い大きく行動や集まる機会が制限されているなかでこのような映像（動画）を通じて幼稚園教諭の確保に向けた活動をするのも大切だと考えている。

リクルート映像についてはまだ評価、課題もこれからの再生する機会で見えてくる部分もあり今後もしっかりと状況把握と課題を見据えて活用していきたいと考えている。

## 2 就職のための総合ガイドブック

### (1) 目的

福島県内の私立幼稚園・認定こども園を全て網羅した、各園の紹介とリクルート情報等を掲載した情報誌「就職のための総合ガイドブック」を作成し、福島県内はもとより、全国の教員養成の大学・短期大学・専門学校へ送付して、福島県内への就職を目指してもらう。

### (2) 事業内容

入園案内など保護者向けのガイドブックは全国でも各地域において取り組まれているが今回、各園の情報を統合し就職活動に役立つガイドブックを人材確保支援事業において作成した。

また、養成校・高等学校（中学校）など幼稚園の先生を目指すための学生向けにも幼稚園の先生になるための情報などもガイドブックの内容に盛り込んだ。先生になるために必要な資格や進路、幼稚園と認定こども園の違い、採用試験の情報やヒント、幼稚園の先生になってからの研修や取り組みについても触れている。

県外からの人材確保のための情報として県内、各市町村での UIJ ターンの制度など行政とも情報を掲載し総合的な就職ガイドとして作成に取り組んだ。

### 【契約内容】

再委託により「就職のための総合ガイドブック」の作成、配布を契約して実施した。

委託契約月日 令和2年7月6日  
 契約期間 令和2年7月6日から  
 令和2年11月30日  
 完了月日 令和2年11月30日

### 【実施内容】

「就職のための総合ガイドブック」  
 7,000部の配布を行った。

会員幼稚園	536部
教員養成校	4,900部
ハローワーク	131部
市町村関係機関	354部
ふるさと福島情報センター等	50部
県の関係機関	344部
その他	685部



### (3) 事業実績

県内の加盟園を中心に情報を集め県内134園の情報と幼稚園の先生になるための情報と県内各市町村の情報等をガイドブックに掲載した。

ガイドブックについては全国の養成校、県庁、各県の幼稚園団体を中心に配布をした。また、地元の高等学校、県内の銀行などにもお願いし人の目につくような場所にも配置した。

### (4) 課題

今後、県内や各市町村の情報をより多く盛り込みたいと考えている。また、ターゲットの層としては同業の転職者ではなく学生、潜在保育士といわれる幼稚園教諭の方たちに情報が伝わればと考えている。免許更新の問題もあるので更新を行っていない潜在の教諭の方にも再就職をしやすい環境を整えなければならない。

給与情報については園によっては問合せという形をとったが、求職者にとっては重要な情報なのでこの部分の課題が残った。給与等の処遇改善の問題についても今回改めて見直す機会になった園もあるようだった。首都圏と地方での給与格差の問題や保育所との給与差、幼稚園での差も情報としては提示することに抵抗のある園もあった。幼稚園白書等でも給与については統計をとり情報を出しているが各園の情報が入った就職ガイドブックを全国に配布した件についても改善、各地の情報の共有としては意義があったと考える。この刺激が少しでも処遇改善に進めばと考える。

今回新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、現時点でしっかりした反応、手ごたえを確認できない状況である。ただ、取り組みとして方向性などは今後の良い材料となった。予算等の問題はあがるが、各県でこのような情報ガイドブックを共通のもので各県独自の取り組みも加えて行うことがあってもよいのではないかと考えている。

冊子という形とネット上の情報との手段の違いや情報を提示する種類の選定を検討することでより良い方向に進むと考える。

### 3 就職フェア

#### (1) 目的

東日本大震災後の福島県における幼稚園教諭・保育教諭不足を打破するため、新規採用の促進を中心に、幼稚園教諭の離職防止・定着促進、離職者等の再就職の促進を図ると共に、Iターン・Uターン者の採用のための就職相談を行う。

#### (2) 事業内容

保育者（幼稚園教諭・保育教諭）を目指す多くの学生、一般の方に参加をしていただき、幼稚園・認定こども園の魅力を実地の先生たちから直接話ができる機会とし幼稚園教諭として働いてもらうことを目的とする。福島（県北）、郡山（県中・県南）、いわき（いわき・相双）、会津（会津）と県内4方部で就職フェアを行った。事前に地元養成校に案内、新聞等での告知を行い希望する園の参加と就職希望の方は当日に参加する形式となった。

#### 【実施内容】

- できるだけ完全な新型コロナウイルスの対策を図りながら実施した。
- 会場内は十分に距離を取り、各園のブースを設置した。
- 来場者は受付後、自分の目的とする各園のブースで説明を受けた。
- 各ブースは、園独自の説明（DVD使用や独自に工夫した資料等を使った。）を行った。
- 参加園以外でも、資料配付の希望があれば実施した。
- 参加後、参加園、参加者共にアンケート調査を実施した。

#### (3) 事業実績

日にち	会場	参加園数	来場者数
8月9日(日)	いわき市 ワシントンホテル	16園	12名
8月22日(土)	会津若松市 ワシントンホテル	13園	10名
8月23日(日)	福島市 ザ・セレクトン	18園	11名
8月30日(日)	郡山市 ビューホテル	24園	17名
計		71園	50名

※来場者出身地：福島市・伊達市・郡山市・本宮市・二本松市・須賀川市・田村市・会津若松市・喜多方市・いわき市・国見町・宮城県仙台市

※来場者校：福島大学、福島学院大学、桜の聖母短期大学、郡山女子大学・短期大学部、いわき短期大学、会津大学短期大学部、東北福祉大学、仙台白百合女子大学、国際ビジネス公務員大学校、茨城キリスト教大学

- ポスター・チラシの配付
  - 東北6県・栃木県・茨城県・千葉県・群馬県・山梨県の各養成校 47校
  - 福島県内ハローワーク 14カ所
  - 国土交通省 福島河川国道事務所 福島国道維持出張所（地下歩道ポスター掲示・道の駅チラシ設置）
  - ふるさと福島就職情報センター（ホームページイベント情報への掲載）
  - 福島県 私学・法人課（ホームページへの掲載）
  - 加盟園 132園
  
- 新型コロナウイルス感染症対策
  - 感染予防指針の作成と配付
  - 来場時の体温測定・来場者にチェックリストの記入依頼
  - 飛沫防止衝立・フェイスシールド・除菌用アルコール・マスク等の準備
  - 会場ブース等の間隔、換気を徹底
  - 参加園の人数を3人までに限定
  - 参加園においてもできる範囲での感染予防対策を依頼
  
- 来場者配布物
  - 就職フェア 参加証
  - 新型コロナウイルス感染拡大予防チェックリスト
  - 就職フェアに関する新型コロナウイルス感染予防指針
  - 参加園一覧
  - アンケート
  - リクルート映像チラシ
  - 保育雑誌プリプリ

# 就職フェア アンケート結果

アンケート回答数46名／全来場者数50名

来場者出身地：郡山市・須賀川市・福島市・本宮市・二本松市・田村市・会津若松市・国見町・喜多方市・いわき市・伊達市・宮城県仙台市

問1 当連合会の就職フェアを何で知りましたか（複数可）

29	学校の教職員
4	新聞
1	学校の先輩（OB/OG）
4	インターネット
3	実習先の幼稚園
3	家族・友人・知人
6	学校の提示物（ポスター）
12	配布物（ちらし）
1	ポスター
	ハローワーク
	その他

問2 あなたは学生ですか

46	はい
	いいえ

問3 問2で「はい」と答えた方へ 何年生ですか

高 校	<input type="text"/>	1 年生	<input type="text"/>	2 年生	<input type="text"/>	3 年生		
大 学	<input type="text"/>	1 年生	1	2 年生	<input type="text"/>	3 年生	11	4 年生
短 大	8	1 年生	25	2 年生				
専門学校	<input type="text"/>	1 年生	1	2 年生	<input type="text"/>	3 年生		

問4 就職フェアにどのくらい満足していますか

38	満足
7	やや満足
	どちらともいえない
	やや不満
	不満

問5 問4で回答を選んだ理由をお書きください

- ・ しっかり園のことを聞けたから
- ・ 様々な園の保育士の方と直接お話しを聞いて、特色を知ることができた
- ・ わからなかったことが理解できた
- ・ 気になる園の保育について詳しく聞かせていただけたから
- ・ 実習先の幼稚園のお話しを聞くことができた
- ・ 詳しく各園について説明をお聞きすることができたから
- ・ 聞きたいことが聞けた
- ・ 多くの園の様子や特徴を聞くことができた
- ・ 各園の特色を詳しく知ることができた
- ・ いろいろな幼稚園の話を聞くことができ、大変参考になった
- ・ 詳しいお話しをお聞きすることができ、一度に複数の園のお話しを伺うことができたため
- ・ 郡山市の園が少なかった
- ・ 実習したい、就職したい園の話を聞けたから
- ・ じっくりとお話しを伺うことができ、学びの多い機会でした
- ・ 自分の興味があった園の話が聞けて良かった
- ・ 普通このような機会が少なく、じっくり園について聞くことができた

- ・知らない所を分かりやすく説明していただいた
- ・就職する上で大切にすべきことや、今やっておいたことを詳しく知れて良かった
- ・くわしく内容を聞くことができたから
- ・いろいろな幼稚園の話を知れたため
- ・たくさん園の話がきけた
- ・話が聞きたい園に沢山聞けたため
- ・丁寧にお話を聞かせていただいたため
- ・時間が足りず、あまり回れなかったため
- ・資料が豊富であり、先生方の説明も丁寧だったから
- ・初めて説明会に参加したため話が聞けて良かった
- ・一つ一つの園の特徴をしっかりと知ることができたため
- ・なかなかお話を聞ける機会がなかったもので、とても良い機会になりました
- ・実習で行った園のことしか知ることがなく、色々な園の話を聞いて、見学に行ってみたいと思う園がいくつかあった
- ・様々な園の話を聞けたため
- ・丁寧な説明でとても分かりやすかったから
- ・自分で調べただけでは分からない特色を知ることができたから
- ・須賀川の園も聞いてみたかった
- ・就職を希望する園の話をゆっくり聞けたため
- ・色々な園の話を聞くことができ、HP上だけでは分からないこともたくさん知ることができたため
- ・考えていなかった地方にも聞くことができた

問6 現時点にてどの職種に就職希望ですか

31	幼稚園教諭
17	保育教諭（こども園）
10	保育士
	福祉士
	一般企業
1	公務員

問7 就職フェアに対して、ご意見・ご要望がございましたらご自由にお書きください

- ・とても良い機会になりました。

問8 今後WEBの就職フェアが開催された場合興味がありますか

42	興味がある
4	興味がない

問9 問8で「興味がある」と回答された方へ WEBの就職フェアが実施された場合に参加を希望しますか

41	希望する
2	希望しない

## 参加園 アンケート結果

【いわき（8月9日） 参加16園 来場者12名】

飛沫防止パネルなど準備していただきありがとうございました。今回はコロナウイルスのため参加者も少なかったのは残念でした。そのため、話を聞きに来てくださるかたが0名で終わってしまったので、また次回開催される時には参加者が増えることを期待しています。

想定していた以上に来場者が少なく感じ残念でした。

足を運んでもらって、出向いての時代は終わりました。ウェブで入口を作り、その後で実際にアクセスしてもらう方法で行うのが良いかとは思いますが。準備等も大変だったと思います。

コロナ禍での就職フェアの開催に気を使いながら、感染予防の対策を準備していただきましたこと。また、不足している保育士を確保する手段である就職フェアを開催していただいたことを感謝します。

私どものブースへ来ていただいた方が少しでも興味を持っていただければと願うばかりです。

最近の学生の方は、都心部への就職を希望する方が多いと聞いております。福島県内での就職者を確保するための対策を何か考えていただきたいと思います。

「福島で先生になろう！」というコンセプトがとても良かったと思います。コロナ禍でなければ学生さんにとっても、園にとってもチャンスにあふれた良い時間となる画期的な企画だったと思うと、とても残念です。また、他園の様子を見られたことが個人的にはとても勉強になりました。また機会がありましたら参加させていただきたいです。

新型コロナウイルスの対策を徹底してくださったので、学生さんとも安心してお話することができました。またこのような機会があり、募集することがある場合は参加させていただこうと思います。

コロナの影響があり、来場者が少なかったのが残念でした。また加えて三連休の2日目だったことも人が少なかった要因の一つかと思いました。その中でも、ブースでは内容の濃いお話しができたのでよかったです。

12名という少ない学生さんの参加ということでとても残念ではありましたが、数名の学生に興味を持っていただけたようで嬉しく思います。

この状況で参加学生が少ないのは仕方ないと思います。ただ、必要とされる方にとってのよい機会になったと思います。

大変すばらしい会場でした。コロナの影響で12名だけの学生参加ではあったが、他地区の短大に行っている学生が来てくれたのは収穫だった。来年も同じような会場を確保してできればいいと思った。



## 参加園 アンケート結果

【会津（8月22日） 参加13園 来場者10名】

<p>来年度はコロナが終息し、盛況に開催されることを願います。</p>
<p>コロナウイルス対策としてパーテーションやフェイスガードを用意してくださり、各園のテーブルを離して設置するなどいろいろご配慮をいただき、参加する園としても安心して臨めました。このような時期なので参加者が少ないのは仕方ないと思います。地元の学生などすでに就職が決まっている方もいるようです。就職フェアの開催をもう少し早い月にするとうまいかと思ひます。</p>
<p>数名の学生さんとの出会いがあり、貴重な機会ではありましたが、当日の参加者が10名とちょっと寂しい感じではありましたが、土日開催となると厳しいのかなと感じております。開催曜日の設定、PRの仕方など次年度に向けて検討していただけるとありがたいです。感染症の心配がある中での開催にあたっては様々な対応をしていただきありがとうございました。</p>
<p>複数の学生さんとお話しする機会がもててとてもありがたかったです。</p>
<p>学生さんが相談しやすいブース作り、どんなことが心配であるかなど、逆に学ばせていただきました。会場内に音楽が流れていると学生さんの緊張も少しは和らぐと感じました。</p>

## 参加園 アンケート結果

【福島（8月23日） 参加18園 来場者11名】

<p>コロナ禍の中ですので、参加者が少ないのは当然ですが、感染者が出ないことを祈っております。幼稚園・こども園としての就職フェアは認知度が低いと思われるが、コロナ禍の中で県外に移動できない今が県内への就職に繋がる大事な時期と考えます。継続した取り組みとブームを巻き起こす企画が欲しいところです。</p>
<p>消毒や距離、非接触など、気を配るべきことが多かったが、それ程混乱せずすすめられたと思う。</p>
<p>来場者の皆さんが熱心に参加下さり、私共も学ぶ点が多くありました。残念だったのが、聞き取りにくいシールドです。マスク等口元も分かりづらく仕方ないのですが、神経を使いました。</p>
<p>参加された学生の方はまとめて各園のパンフレットをもらうことができ、良い機会になったと思う。また、プレゼント企画もあり良かったと思う。各ブースの配置について公平になるようによく引き等で決定すると良かったのではないかと思った。（2列目に学生さんが話を聞きにきている姿が多く見られた）市外からきた学生さんに分かりやすいよう園名の札の所に（福島・郡山）入れると分かりやすかったのではないかと思う。</p>
<p>現在コロナの影響もあり、学生さんの来場者数が少なく残念に感じました。その地区での学生の就職活動の状況を踏まえ、開催時期、告知の仕方など、学生へのアプローチの方法の検討が必要ではないかと感じました。短大生のうち5名が1年生という、保育士に対する思いが強く感じられ、そういった学生のためにも、就職フェアにもっと足を運んでもらえる告知をお願いしたいです。</p>
<p>事前資料をいただき福島市は郡山出身の生徒さんが多いことを知ることができました。当日、郡山出身の生徒さんが来てくれなかったのが少し残念でした。</p>

## 参加園 アンケート結果

【郡山（8月30日） 参加24園 来場者17名】

<p>出席する側からすると土曜日の方が多くの先生方にお願ひできたりするのではないのでしょうか。個人的なことを言うと、保育園に子どもを預けられなかったりしたので、日曜日はなかなか難しいです。</p>
<p>コロナウイルスで大変な中17名もの参加があっただけで喜ばしいと感じた。 3つの園のシール？を貼るのではなく、全園のPR？のようなことをしても良いのではないか。（聞きに行くのではなく、講義のようにすべてをきく）</p>
<p>各ブースにたどり着くまで学生さんは緊張の様子。合間に声がけをする役目も大切なと思いました。</p>
<p>郡山地区は毎年郡山女子大学で行っているが、今回郡山女子大学以外の学生（郡山在住）が来たことで、成果があったのかと思う。来年度は予算の関係で難しいのか。</p>
<p>前日は郡山でコロナ感染者が出たこともあった為か、学生さんの人数も少なくまた、相双地区の学生さん（対象者）もいなかったため寂しい結果で残念でした。</p>
<p>学生さん皆さんと直接会話をし、普段聞けないことを話し合い、コミュニケーションが取れて大変良かったと感じております。</p>
<p>参加人数が多いと良かった。時間があつたのでゆっくり丁寧に説明できた。</p>
<p>今回、開催地域での就職希望者が参加していたので、別地域に来て欲しいが難しい状況であった。参加人数が多くないが、今後も継続して欲しい。</p>
<p>開催時間は2時間ぐらいでよいと思います。学生は1つの園を10分ぐらいで、時間内できるだけ多くの園をまわるようにするとよいと思います。</p>
<p>実習に来ている生徒以外とも話せたことで、現状の中での学生たちの思いや考えを聞くことができ、こちらとしても得るものがあった。コロナ禍の中とはいえ、参加者が思った以上に少なく残念だった。</p>
<p>今回同様に次回もご計画を福私幼連独自で開催して、連携を深めて積み重ねが大切かと思ひます。求職者との充分な対話の時間がとれて大変良かったと思ひます。求職者も喜んでいました。</p>

## 就職フェアについて 結果

9月15日現在 回答数59園 /134園

問1 来年度も本連合会として就職フェアを実施したほうがよいか。

実施したほうがよい	実施しなくてもよい
48	8

問2 来年度、就職フェアを実施したとして参加しますか。

参加する	採用があれば参加する	採用があっても参加しない	参加しない
27	23	1	8

問3 問2において 参加する、採用があれば参加するとした方に質問です。  
参加費用がかかる場合 どうしますか。

無料なら参加する	参加費がかかっても参加する	参加費がかかるなら参加しない
20	28	2

問4 問3において (参加費がかかっても参加する) とした方へ。  
参加費がいくらまでなら参加しますか。

2,000円	3,000円	5,000円	5,000~1万円	1万円	1~2万円	2~3万円
1	1	2	1	11	1	1

問5 問2で参加しないと回答した方 参加しない理由をできれば教えてください。

園独自の取り組みを行っているため。
実際園に足を運んでいただき、園の様子を感じて決めて欲しいと思うから。
このままの状態であれば感染拡大防止のため。
採用効果が期待できないと感じている。
教育実習生受け入れ大学へ直接推薦依頼をしているため。
採用するとしたら縁故で採用したいから。
開催しても参加者が少ない。本園独自で採用者を募集する。(短大・大学に求人を出す)

問6 就職フェアについて希望することがあればお願いします。

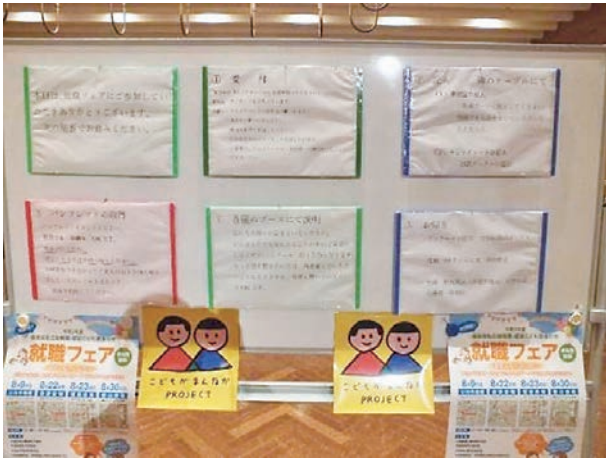
日時・場所・開催方法・費用・周知方法 etc

養成校ともっと連携がとれると参加者が増えるのではと思いました。実施時期等も、逆に養成校にアンケートをとってみるのも良いと思います。
園のブースを探す学生もいたようなので、どこにどの園が設置しているのか、案内があれば良い。
コロナが終息すれば必ず学生さんが集まると思う。
通常の開催だとどの程度の人が集まるのか、今後参加させていただきながら見て行けたらと思います。定期的な開催となればもっと様々な方に周知され、集まる方も増えるのでないかと思っています。
学生さんと話すことができ、実りあるフェアとなり、今後も継続して開催してほしいと希望いたします。
福島・郡山の両会場では日曜日開催でしたが、できれば土曜日の開催であればありがたいです。
新卒だけでなく、短大でやらないなら既卒も可、転職、中途採用も今後は考えていく必要に迫られていると思う。
実習期間外の開催の方が学生も集まりやすいかと思う。各ブース決めも、地域ごとに抽選でやった方が平等に思える。
時期は就活する(考える)季節のため良いのではないか。ビューホテル(郡山)会場は駅から遠いので、アネックスの方でやる、又は、駐車場が無料でアクセスしやすいビッグパレットなどはいかがでしょう。
すべて再検討すべきです。
土日に開催するのであれば、学校と連携をして、できるだけ多くの学生さんに足を運んでもらえるようにしていただけるとありがたいです。就職セミナーでの学生さんとの出会いを大切にしているので、次年度も是非開催していただきたいです。
養成校が各自で行うセミナーとの兼ね合いも考慮した方が良いと思いました。(参加者の分散化などが考えられないか)

<p>開催は2時間くらいで良いと思います。</p> <p>学生は一つの園を10分くらいで、時間内、できるだけ多くの園をまわれるようにすると良いと思います。</p>
<p>地元である「いわき短大」にて実施してほしいと思います。</p>
<p>他県の状況を調べつつ、違う形（時期・会場・Zoomなど）での学生と園のつなぎ方を考えたいものです。コロナに起因する人数だったとしたら、時間指定による参加でも良いかも知れません。</p>
<p>各養成校の学生さんに広く周知してほしい。</p>
<p>今まで（R1まで）各養成大学との協力関係を整理してから進めた方がよい。</p> <p>いわき短期大学では、キャリアセンターが中心になって同様なことをやってきている。（施設、保育園も同時開催）</p>
<p>開催の時期を各大学で行う就職説明会の時期をずらせばもっと参加者が増えるのではないかと。</p>
<p>やり方を工夫する必要があると思いました。直接お話しをするのも大切と思いますが、これからはウェブを使う必要もあるかと思っています。</p>
<p>就職フェアについて、もっと周知してもらえると嬉しいです。</p>
<p>日時：9月</p> <p>場所：県内4カ所</p> <p>開催方法：今回の方法で良い</p> <p>周知方法：福私幼連を通して連絡する</p>
<p>場所：いわき</p> <p>開催方法：各園にブースを設けての学生への説明</p> <p>周知方法：FAX またはメール</p>
<p>来年以降も教員・保育士の採用難は続くと思いますので、毎年開催をして、大学・学生に広く認知してもらえるようになれば良いと思います。</p>

令和2年8月9日(日) いわき会場

【来場者案内】



【受付】



【園パンフレット】



【会場】



令和2年8月22日(土) 会津会場

【受付】



【会場】



令和2年8月30日(日) 郡山会場

【受付】



【会場】



#### (4) 課題

新型コロナウイルス感染拡大に伴い参加園、参加者ともに影響を大きく受けた。参加園について新型コロナウイルス感染拡大に伴い参加を見合わせる園もあり参加者も少ない状況でした。ただ、参加人数が少ないこともあり参加者からはじっくりお話を聞くことができた。今後は今年度のように新型コロナウイルス感染拡大の状況に合わせたオンラインでの就職フェアなど会場を使わずに行う方法や逆にコロナ感染状況が収まった場合など開催の仕方を検討する必要がある。今後継続する場合には会場の検討や参加園からの参加費徴収等、活動費についても計画的かつコストを抑えた形で検討しなければならない。

## 4 就職セミナー

### (1) 目的

人間形成のうえにおいて、特に重要である幼児期の教育を担う私立幼稚園・認定こども園が私学の建学の精神を基に、特色ある幼児教育を促進するために、有望な教諭の確保にあたることが重要である。

このため、私立幼稚園・認定こども園に就職を希望する学生及び有資格者に、各園の内容について正確な情報を提供するため実施する。

### (2) 事業内容

県内養成校にて福島県私立幼稚園・認定こども園、幼稚園教諭・保育教諭の魅力を伝え幼稚園、認定こども園への就職につなげる。

#### 【実施内容】

- 基本は直接教員養成校へ出向いての実施とした。
- 新型コロナウイルスの影響からオンラインによる開催も実施した。
- 新型コロナウイルスの影響から資料配付のみでも実施した。
- 各養成校の希望により内容（例えば「就職と現状」などの講演、各園が参加しての各園の特色等の説明など）を変えて実施した。

### (3) 事業実績

日時・場所・参加数

- 9月9日(水) 郡山女子大学短期大学部幼児教育学科2年生160名
- 9月15日(火) 桜の聖母短期大学こども保育コース1年生55名
- 10月8日(木) いわき短期大学幼児教育科2年生100名
- 10月23日(金) 福島学院大学短期大学部保育学科2年生90名
- 12月23日(水) 会津大学短期大学部幼児教育学科1、2年生100名
- 1月27日(水) 福島学院大学福祉学部こども学科2年生30名



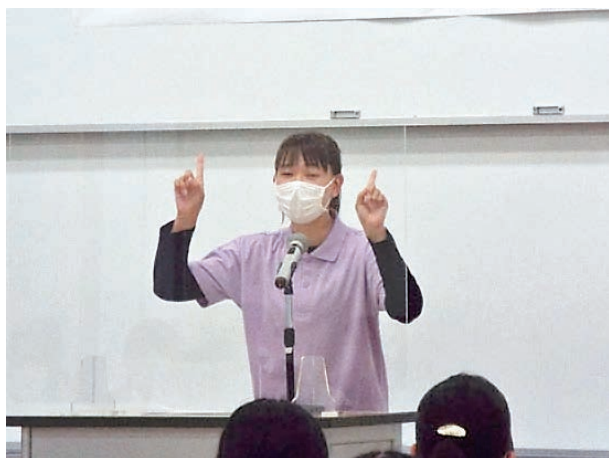
令和2年9月9日(水) 郡山女子大学短期大学部



令和2年9月15日(火) 桜の聖母短期大学



令和2年10月8日(木) いわき短期大学



#### (4) 課 題

今まで福島県私立幼稚園・認定こども園連合会での事業として行っている。幼稚園・認定こども園に勤務している卒業生の話と幼稚園の現状として園長、主任等の話をする機会を設け年齢の近い身近な卒業生の現場の話と園長クラスの現状と心構え等を伝える機会となっている。近年、養成校の意向により各学校でセミナーの形式が異なっており従来の形式の他に就職フェアのようなスタイルで各園のブースを設けて個別対応の形で就職セミナーを開くケースなどがある。就職に結びつけるセミナーの形式か幼稚園・認定こども園の勤務の内容や現状、魅力を伝える機会にするかは、各方部の幼稚園と養成校との相談で進めている。

## ま と め

今回の文部科学省「幼稚園の人材確保支援事業」において「リクルート映像」「リクルート誌」「就職フェア」「就職セミナー」の4つの事業を行った。

今年度の事業において新型コロナウイルス感染拡大の影響も大きく結果として数値的な大きな成果を上げることは難しかったが、次年度以降にもつながる材料を多く得ることができた。

「リクルート映像」については次年度以降も活用でき広報活動をさらに充実させることにより多くの人たちに見る機会を作ることができれば養成校の学生、復職を考えている人以外にも小学校、中学校、高等学校と未来を担う世代にも映像を見てもらい夢と希望を育むことができると考える。YouTubeの案内、広報活動、学校への配布など行政とも協力し広めることを今後検討したい。

「リクルート誌」については内容・情報をさらに検討し、県外からの移住等にも対応しUIJターン情報など県での取り組みや各市町村の情報を充実させたい。就職を目指す人が必要とする情報や各学校の就職活動、幼稚園教諭・保育教諭の進路指導や総合学習など仕事の学習等でも活用できるようなものを目指したい。ガイドブックとして冊子形式、インターネットなど今のニーズに合わせた形でも今後検討する必要がある。インターネット上だと情報を更新することができ、求人情報など変更にも対応することができるが冊子形式だとそれはできないので幅広い教材等にも対応できるような冊子形式等様々な検討材料を発見することができた。

「就職フェア」について人材確保支援事業を活用し各方部でできた事は大きな成果であった。現在各地で幼稚園、保育所等でも合同就職説明会など行われるようになったが、福島県私立幼稚園・認定こども園連合会の団体としては各方部での開催は今回初めての試みであった。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたことは大きく参加園、参加者ともに自粛、見送る人が多い結果となった。今後の状況次第でもあるがリモートでの開催、通常開催等様々なケースを想定して開催を継続したいと考えている。行政、養成校とも協力しながら県内各方部での開催を今後もできればと考えている。告知方法や養成校への案内など行ったが今後も継続する場合にはしっかりと養成校とも連絡を密にして参加しやすい開催の時期等の検討を行いたい。一度退職して復職したい人にも気軽に参加できるような環境を行政、ハローワーク等とも相談しより良い方向に進めていきたい。会場についても参加しやすい場所、会場費等継続して開催できるようにしていきたい。

「就職セミナー」については以前より開催をしてきたが今回学生の授業としての幼稚園、認定こども園の仕事や現場の身近な先輩、現場の教務主任や園長から伝える機会として継続してきたが各方部の幼稚園の考えや養成校の考えによって「就職セミナー」の開催方法が変わってきている。養成校によっては仕事を知る機会として現場の生の声を聴きたいケースや就職フェアのように就職に直につながる開催の仕方を希望する養成校もある。幼稚園側として近年多いのはやはり人手不足から就職につながるような形式の意見が多く出るようになった。今後、総合的に行うか、就職フェアのような形式を各養成校で行うかなど課題がある。今年度リクルート映像も活用し行うこともできたことから映像を使いながら就職説明会の形式で行われていく方向に進んでいくものと思われる。養成校の意見も尊重しながら開催を継続してより良い方向に進めていきたい。

今年度「幼稚園の人材確保支援事業」として総合的に4つの事業を進めてきたが、単年度で終わるような内容ではなくそれぞれの課題、改善点等、次年度以降にも継続して行う経験と材料を「幼稚園の人材確保支援事業」で得ることができたことが非常に大きい。

新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きい今年度結果ではあるが、終息の可能性もあるところで感染拡大が落ち着いた状況で行えることができればより良い結果を得ることができると考える。今年度の影響下でのケースとそれぞれ想定し並行して事業をしばらくは進めていかなければならないが、

時代の流れとしてネット環境の利用、リモート等の活用も進めていかなければならない。我々は人と人との直接のやり取りを大事にする仕事である。今回の新型コロナウイルス感染拡大の状況下においても子どもとの接し方、マスクで顔が隠れてしまうことで表情が伝わらない問題がある。小さい未満児の園児には表情が伝わらず怖く見えてしまうなど色々な問題が起きた。就職試験や今回の就職活動においてもマスクを外すわけにもいかず、透明のものもあるが感染予防にはならず着用もできないため互いに表情が伝わりにくい生活が当たり前になりつつあるなか、このような問題にも取り組んでいかなければならない。

調査研究実行委員会委員長 塩 谷 元

# 令和2年度文部科学省委託事業 「幼稚園の人材確保支援」調査研究実行委員会名簿

従事期間：令和2年6月12日から令和3年3月31日

実行委員会委員長	塩谷元 他 13名（実人数）	
実行委員氏名	所属機関・所属・職名	エフォー （専従貢献度）（%）
佐藤敦子	福島学院大学短期大学部教授	0.64
三瓶令子	郡山女子大学短期大学部教授	0.64
高堀洋幸	社会保険労務士・中小企業診断士	0.64
小檜山裕展	福島県私学・法人課主幹兼副課長	0.64
平栗裕治	福島県私立幼稚園・認定こども園連合会理事長	2.99
細谷實	福島県私立幼稚園・認定こども園連合会副理事長	2.99
塩谷元	福島県私立幼稚園・認定こども園連合会総務広報委員長	2.99
斎藤悟	福島県私立幼稚園・認定こども園連合会総務広報副委員長	2.99
宮澤公大	福島県私立幼稚園・認定こども園連合会総務広報委員	2.99
辻正弥	福島県私立幼稚園・認定こども園連合会総務広報委員	2.99
真浦直美	福島県私立幼稚園・認定こども園連合会総務広報委員	2.99
諏訪信行	福島県私立幼稚園・認定こども園連合会総務広報委員	2.99
新妻英昭	福島県私立幼稚園・認定こども園連合会総務広報委員	2.99
吉田富	福島県私立幼稚園・認定こども園連合会総務広報委員	2.99
中澤翔平	福島県私立幼稚園・認定こども園連合会総務広報委員	2.99

文部科学省委託事業「幼稚園の人材確保支援事業」

発行：公益社団法人福島県私立幼稚園・認定こども園連合会

発行年月日：令和3年3月26日

〒960-8103 福島県福島市舟場町2番1号 福島県庁舟場町分館

TEL：024-522-3252・FAX：024-521-4463

E-mail：fukuzen@fukushima-shigaku.jp

ホームページ：https://fukuzen-yojikyoiku.net